

2016年3月期第1四半期 決算説明会資料



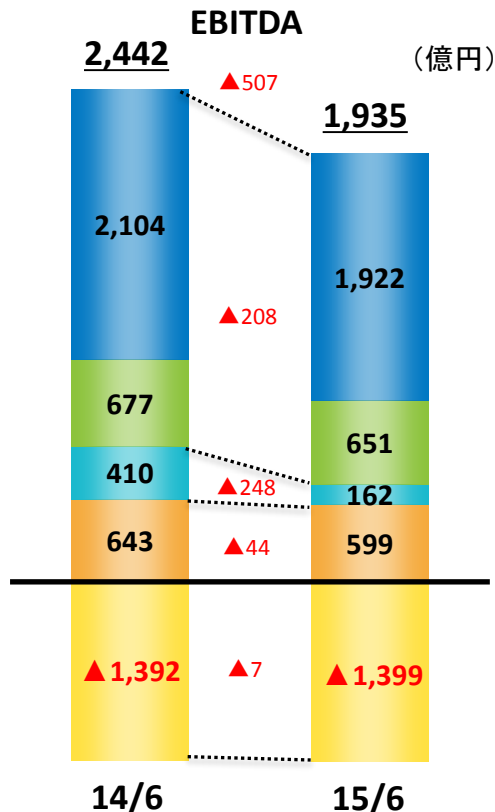
MITSUMI & CO.

2015年8月6日
三井物産株式会社

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

2016年3月期第1四半期 経営成績

- ◆ 世界経済は、新興国の減速が続くが、米国を中心とする先進国が牽引役となり、非常に緩やかに回復を継続。
鉄鉱石価格*は、50～60ドル/トンレンジ、原油価格**は、60ドル/バレルをはさんだレベルで推移。 *スポット価格指標Fe 62% CFR North China
**ドバイ原油スポット価格
- ◆ EBITDA***: 1,935億円（前年同期比 ▲507億円）（計画6,600億円に対する進捗率 29%）
 - ・ 売上総利益（減価償却費足し戻し後）：米メチオニン事業の好調等による海外セグメントの大幅増益があったものの、鉄鉱石、原油・ガス価格の下落の影響が大きく、208億円の減益。
 - ・ 受取配当金：LNGプロジェクトからの配当減を主因に、248億円の減少。
 - ・ <事業分野別（全世界ベース）> 金属＋エネルギー：1,168億円（同 ▲812億円）
その他の分野：767億円（同 +305億円：主に化学品＋155億円、機械・インフラ＋116億円）
(Appendix P11参照)



売上総利益	1,922億円	} 前年同期比 ▲208億円 (▲7%)
減価償却費及び無形資産等償却費	651億円	

↓ エネルギー：▲203億円（石油・ガス生産事業▲239億円（内、米シェール事業▲92億円））

↓ 金属資源：▲187億円（豪州鉄鉱石事業▲190億円：鉄鉱石価格の下落）

↑ 海外：+133億円（米メチオニン事業+131億円：メチオニン価格の上昇）

受取配当金	162億円	前年同期比 ▲248億円 (▲60%)
-------	-------	---------------------

↓ LNGプロジェクト：▲252億円

持分法による投資利益	599億円	前年同期比 ▲44億円 (▲7%)
------------	-------	-------------------

↓ Valepar：▲61億円（鉄鉱石価格の下落）

↓ Robe River Mining Company (MIOD)：▲60億円（鉄鉱石価格の下落）

↑ 墨LNGターミナル事業：+44億円（リース会計処理変更）

↑ 東洋エンジニアリング：損失見積額変更

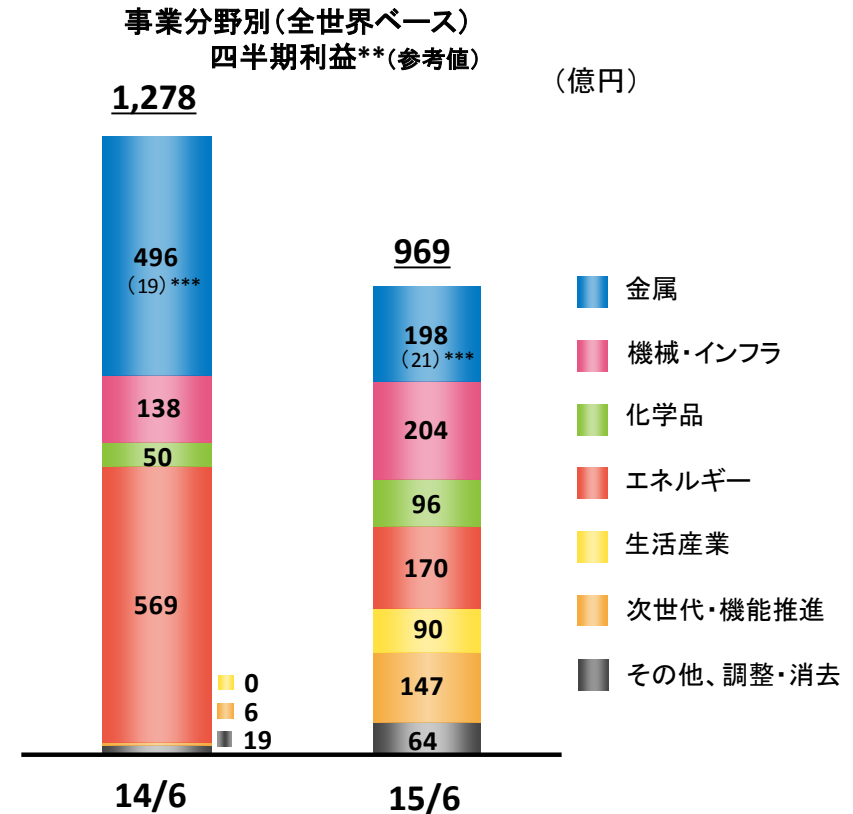
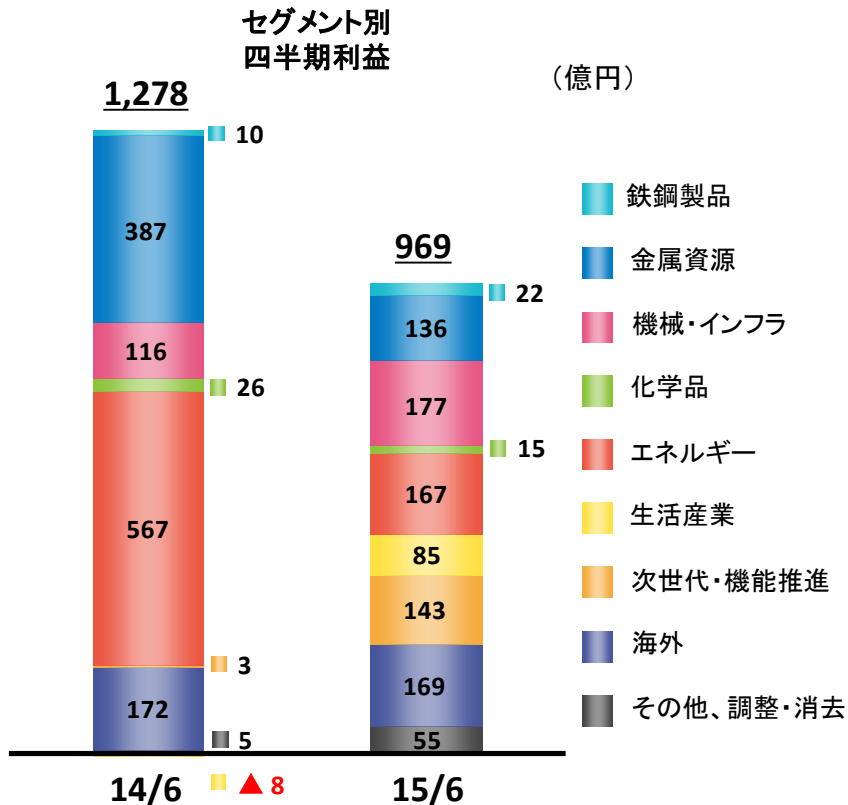
販売費及び一般管理費	▲1,399億円	前年同期比 ▲7億円 (▲1%)
------------	----------	------------------

*** 売上総利益＋販売費及び一般管理費＋受取配当金＋持分法による投資利益＋減価償却費及び無形資産等償却費
四捨五入により合計が合わない箇所があります。

◆ 四半期利益*: 969億円(前年同期比 ▲309億円)

<事業分野別(全世界ベース)>

- 金属+エネルギーは、鉄鉱石、原油・ガス価格の下落を主因に、697億円減益の368億円。
- その他の分野は、次世代・機能推進(+141億円)での企業投資開発事業に係わる株式の公正価値評価益や、生活産業(+90億円)での不動産売却益、化学品(+46億円)でのメチオニン事業の好調などを主因に、合計で388億円増益の601億円。



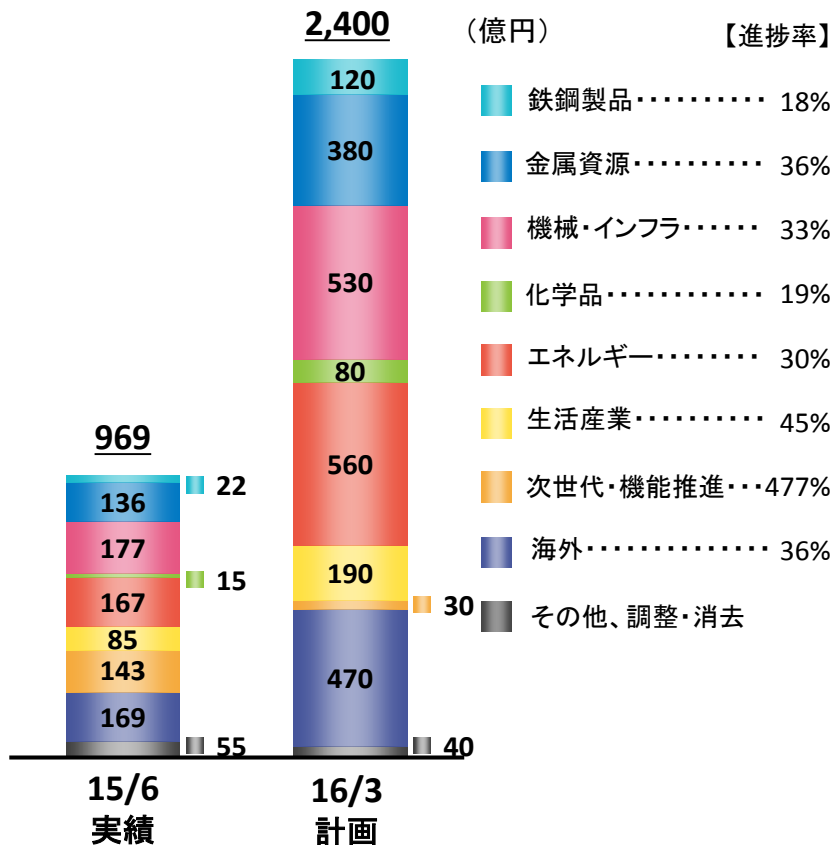
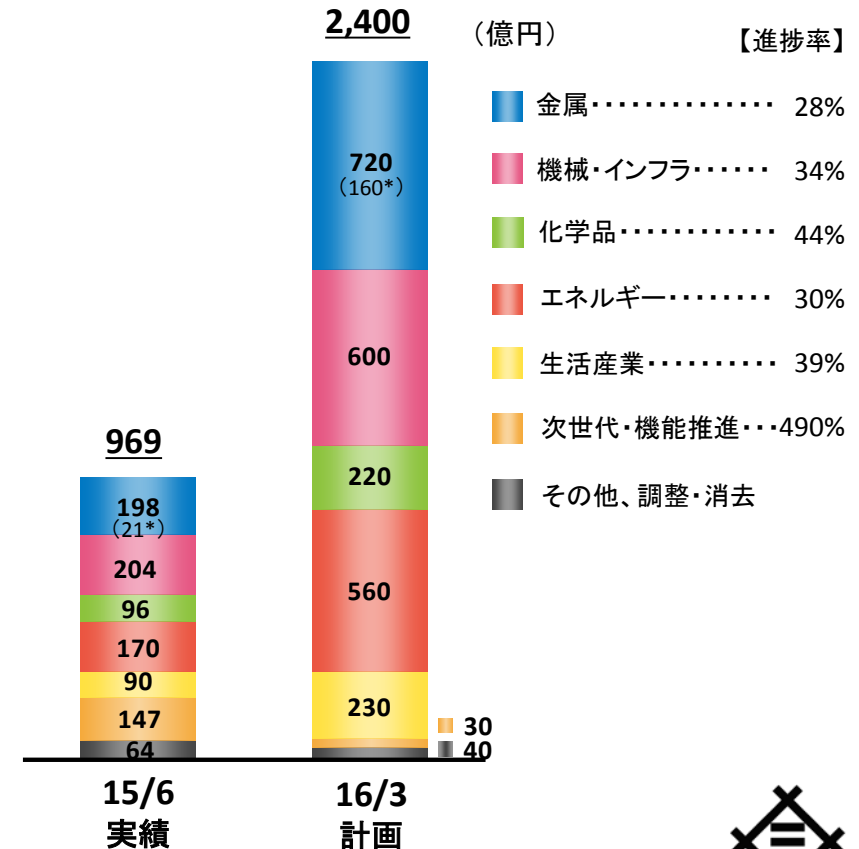
*本資料では第1四半期の「四半期利益(親会社の所有者に帰属)」を「四半期利益」と表記しています。

** 海外セグメント業績を事業分野別に組替え算出した全世界ベースでの参考データ
*** () 内は、鉄鋼製品の数値

◆ 事業計画に対する四半期利益の進捗率：40%

＜進捗率の特に高い事業分野(全世界ベース)とその主因＞

- ・ 次世代・機能推進(147億円)：490% 株式の公正価値評価益(FVTPL)
- ・ 化学品(96億円)：44% 米メチオニン事業の好調
- ・ 生活産業(90億円)：39% 不動産売却益

セグメント別
四半期利益事業分野別(全世界ベース)
四半期利益(参考値)

* () 内は、鉄鋼製品の数値

2016年3月期第1四半期 キャッシュ・フロー アロケーション

- ◆ 基礎営業キャッシュ・フローは、原油・ガス価格の下落とLNGプロジェクトからの配当金の減少を主因に減少したものの、全体としては1,500億円の獲得となり、新中経のキャッシュ・フロー計画達成に向け、十分な創出力を維持した。
- ◆ 資産リサイクルを着実に実行し、約750億円を獲得。基礎営業キャッシュ・フローと合わせた資金獲得は約2,250億円。
- ◆ 投融資は、既存事業 + パイプライン案件を中心に約1,200億円を実行。

<実績概数>

(単位：億円)

主要セグメント・案件

基礎営業 キャッシュ・フロー		+1,500	エネルギー：+550(前年同期比▲430)、金属資源：+440(同▲70) 海外：+150(同+60)、機械・インフラ：+140(同▲10)	
資産リサイクル		+750	FPSO貸付金回収、不動産売却、Valepar優先株	
投融資合計		▲1,200	既存事業+パイプライン案件 ▲850	新規事業 ▲350
(内訳)	鉄鋼製品	0		
	金属資源	▲150	豪州鉄鉱石港湾・インフラ拡張	
	機械・インフラ	▲150	ブラジル旅客鉄道事業	
	化学品	▲100	米メタノール製造	
	エネルギー	▲500	タイ沖事業開発、米シェールオイル・ガス開発	
	生活産業	▲100	英国教育関連事業	
	次世代・機能推進	▲50	インドネシア高速携帯通信サービス	
	海外	▲150	米タンクターミナル拡張、米航空機エンジンリース	

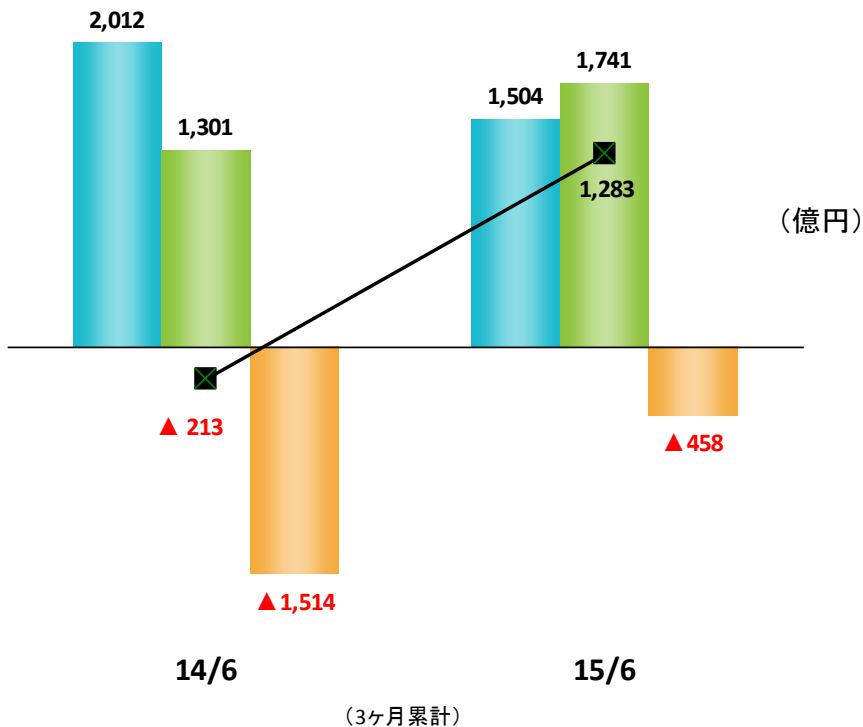
青字は、新たに取り組みを開始した投資案件。黒字は前期より継続して投資を実行している案件。

キャッシュ・フロー、バランスシート

キャッシュ・フロー

- ◆ 基礎営業キャッシュ・フローは1,504億円（前年同期比▲508億円）。
- ◆ フリーキャッシュ・フローは1,283億円の黒字（同+1,496億円）。

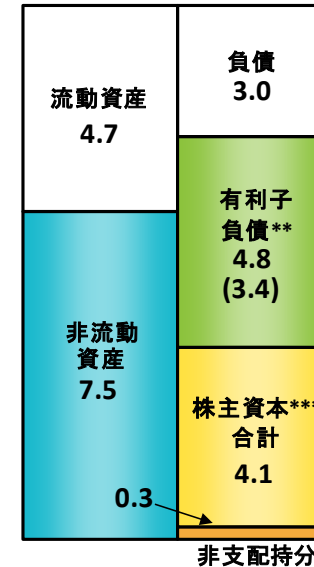
* 基礎営業キャッシュ・フロー 営業キャッシュ・フロー 投資キャッシュ・フロー フリーキャッシュ・フロー



*営業活動に係るCF－運転資本の増減に係るCF

バランスシート

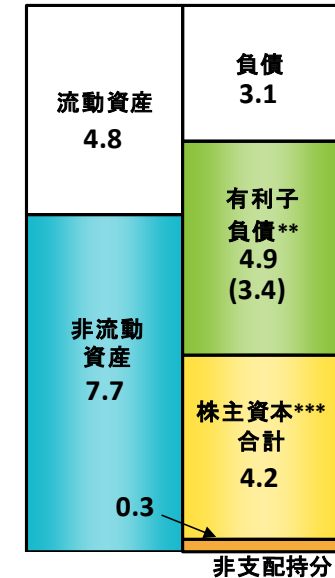
15/3



総資産 12.2兆円
株主資本 4.1兆円
Net DER 0.82倍

15/6

(兆円)



総資産 12.5兆円
株主資本 4.2兆円
Net DER 0.80倍

<株主資本の主な増減要因(2015年3月末比+1,325億円)>

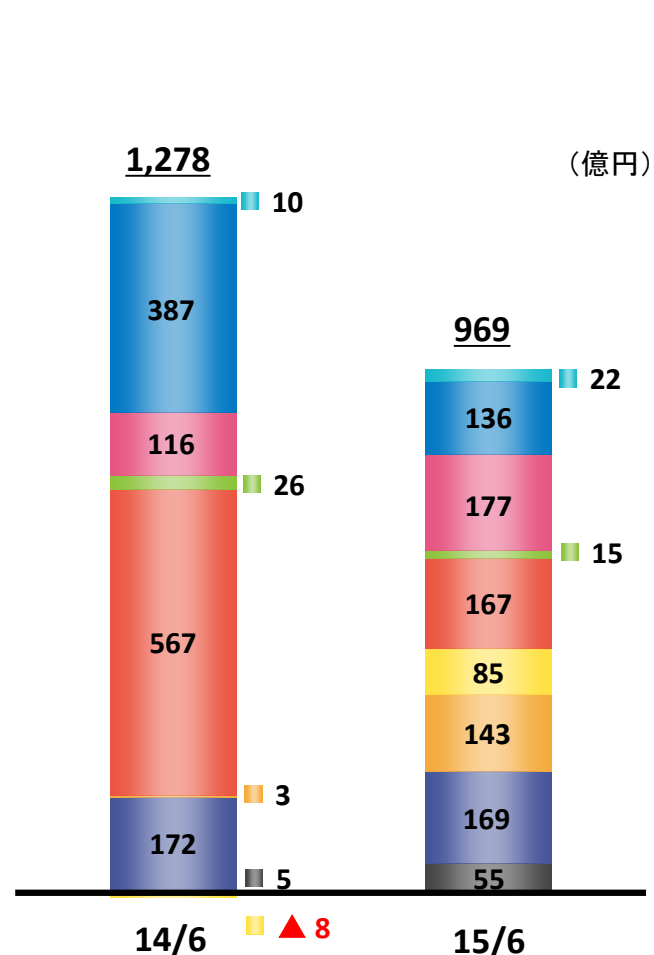
- ・ 四半期利益の積み上がり : +969億円
- ・ 外貨換算調整勘定 : +770億円
- ・ FVTOCIの金融資産 : +123億円
- ・ 配当金の支払 : ▲574億円
- ・ その他 : +37億円

** 有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

*** 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を、株主資本と表記しています。

補足説明

2016年3月期第1四半期 セグメント別四半期利益の前年同期比増減



(数値は税後)

■ エネルギー 167億円 前年同期比 ▲400億円(▲71%)

- ↓ LNGプロジェクトからの受取配当金減により▲252億円
- ↓ MEPMEは、数量増の一方、原油価格下落やコスト増により ▲54億円
- ↓ MEPAUIは、数量増の一方、原油価格下落や為替変動により ▲32億円

■ 金属資源 136億円 前年同期比 ▲251億円(▲65%)

- ↓ 豪州鉄鉱石事業は、為替変動やコスト減の一方、鉄鉱石価格下落により ▲163億円*
- ↓ Valeparは、コスト減の一方、鉄鉱石価格下落により▲41億円

*当セグメント持分

■ 次世代・機能推進 143億円 前年同期比 +140億円(一)

- ↑ Hutchison MediPharma Holdings株式の公正価値評価益 +88億円
- ↑ 中国動画配信事業売却に伴い+16億円
- ↑ トライネット・ロジスティクスは、倉庫売却を主因に+13億円

■ 生活産業 85億円 前年同期比 +93億円(一)

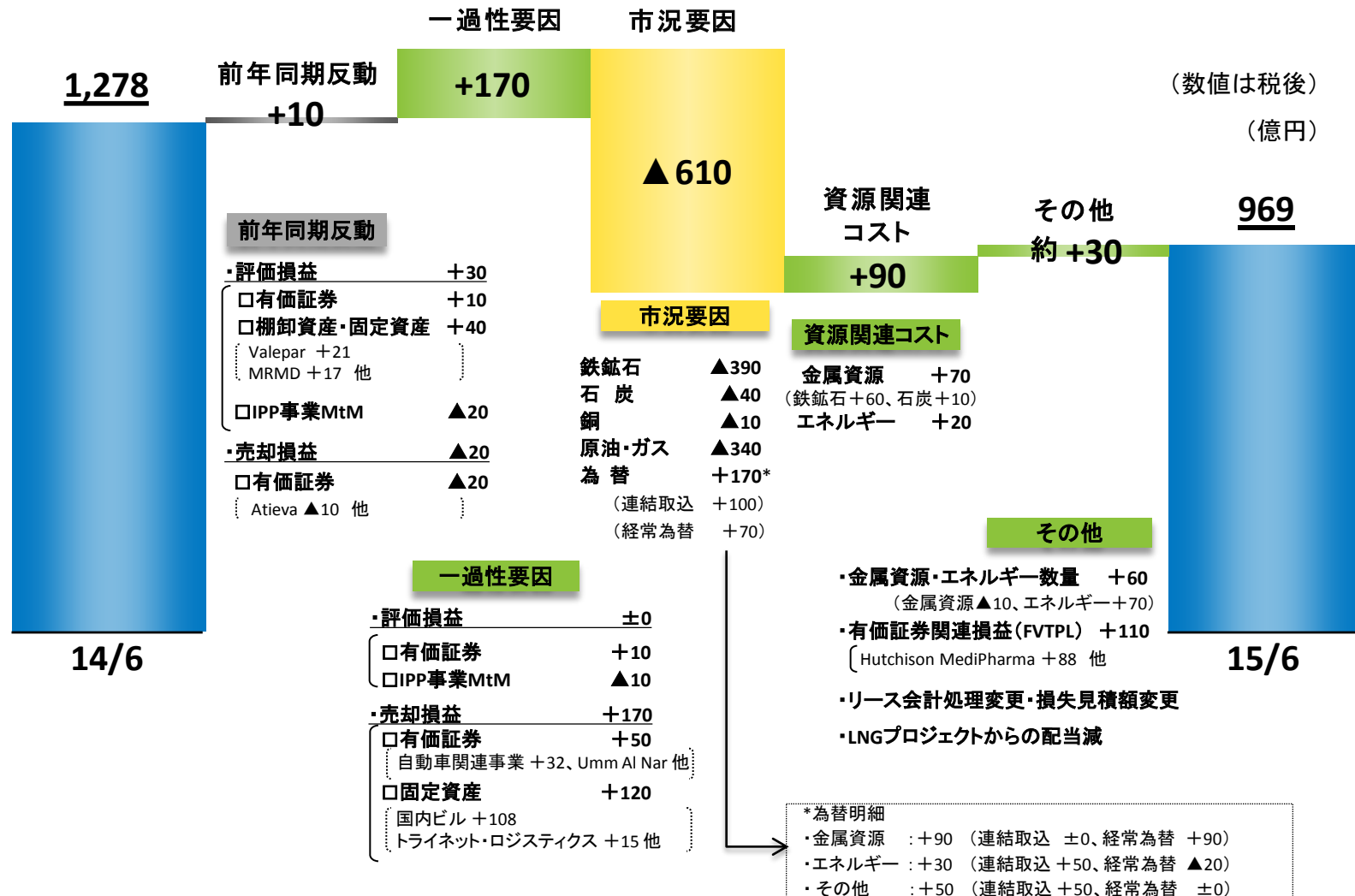
- ↑ 物産不動産は、国内ビル売却を主因に+83億円

■ 機械・インフラ 177億円 前年同期比 +61億円(+53%)

- ↑ 墨LNGターミナル事業は、リース会計処理変更を主因に+30億円
- ↑ 東洋エンジニアリングに関わる損失見積額変更

■ 鉄鋼製品	22億円	前年同期比	+12億円(+120%)
■ 化学品	15億円	前年同期比	▲11億円(▲42%)
■ 海外	169億円	前年同期比	▲3億円(▲2%)
■ その他、調整・消去	55億円	前年同期比	+50億円

2016年3月期第1四半期 前年同期比 増減要素



注) 本頁の金属資源、エネルギーは全世界ベースの数値

Appendix

2016年3月期 事業計画における前提条件及び感応度

15/3通期 (実績)	価格変動の16/3期当期利益 への影響額 (2015年5月公表)			16/3通期 (前提)	16/3 1Q (実績)
91	市況商品	原油/JCC	27 億円 (US\$1/バレル)	63	60
103		連結油価 (*1)		63	61
4.28(*2)		米国ガス(*3)	8 億円 (US\$0.1/mmBtu)	3.65(*4)	2.81
83.00(*5)		鉄鉱石	30 億円 (US\$1/トン)	(*6)	58(*5)
6,860(*7)		銅	10 億円 (US\$100/トン)	6,000	5,815(*7)
110.62	為替 (*8)	米ドル	18 億円 (¥1/米ドル)	120.00	121.73
95.51		豪ドル	8 億円 (¥1/豪ドル)	95.00	94.73
44.58		伯レアル	3 億円 (¥1/伯レアル)	40.00	39.53

(*1) 原油価格は0～6ヶ月遅れで当社連結業績に反映されるため、この期ずれを考慮した連結業績に反映される原油価格を連結油価として推計している。
16/3期には34%が4～6ヵ月遅れで、38%が1～3ヵ月遅れで、28%が遅れ無しで反映されると想定される。

(*2) 米国ガスの15/3期通期実績欄には、2014年1月～12月、16/3期1Q実績欄には、2015年1月～3月のNYMEXにて取引されるHenry Hub Natural Gas Futuresの直近限月終値のdaily平均値を記載。

(*3) 当社が米国で取り扱う天然ガスはその多くがHenry Hub (HH)に連動しない為、上記感応度はHH価格の変動に対する感応度ではなく、加重平均ガス販売価格に対する感応度。

(*4) HH連動の販売価格は、HH価格US\$3.65/mmBtuを前提として使用している。

(*5) 鉄鉱石の15/3期通期実績欄には、2014年4月～2015年3月、16/3期1Q実績欄には、2015年4月～6月の複数業界紙によるスポット価格指標 Fe 62% CFR North Chinaのdaily平均値 (参考値) を記載。

(*6) 鉄鉱石の前提価格は非開示。

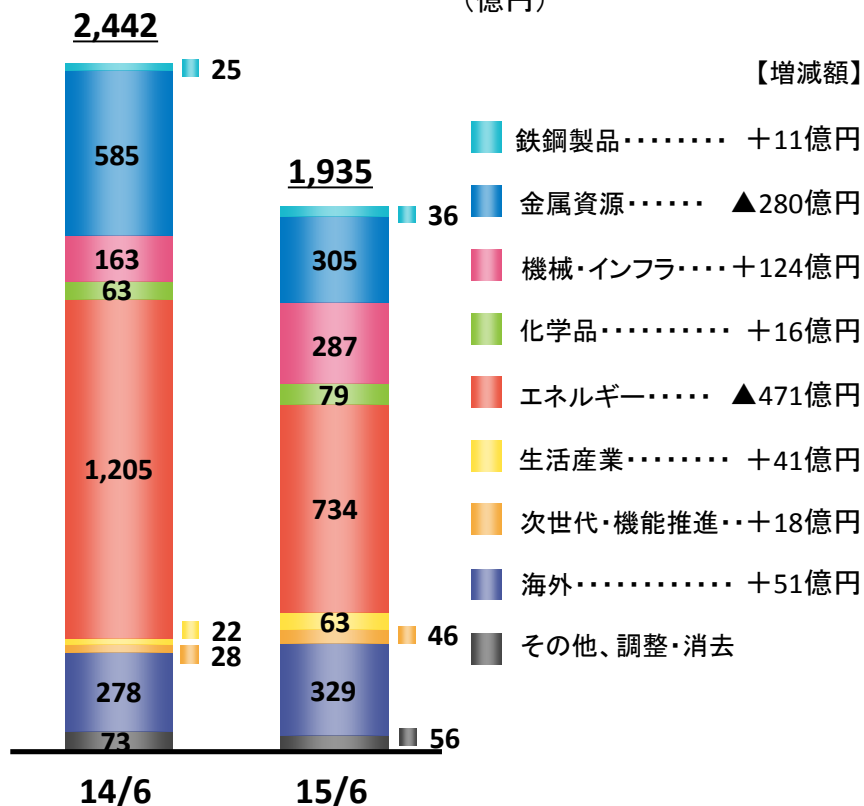
(*7) 銅の15/3期通期実績欄には、2014年1月～12月、16/3期1Q実績欄には、2015年1月～3月のLME cash settlement priceのmonthly averageの平均値を記載。

(*8) 各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期利益に対する感応度。円安は機能通貨建て当期利益の円貨換算を通じて増益要因となる。
金属資源・エネルギー生産事業における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯レアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。

2016年3月期第1四半期 EBITDA 前年同期比増減

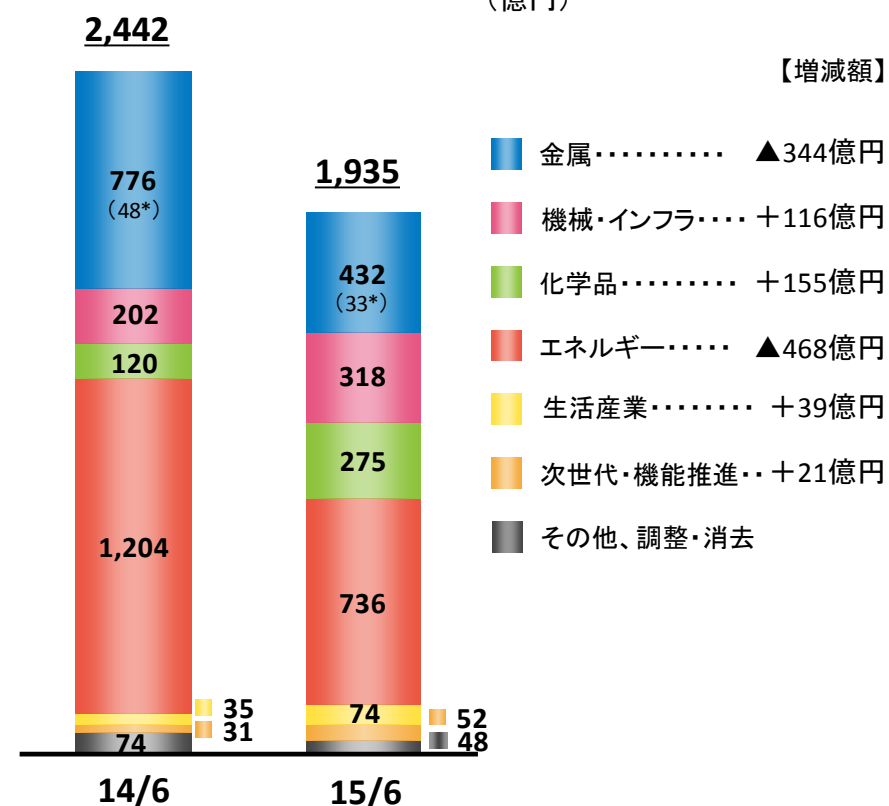
セグメント別
EBITDA

(億円)



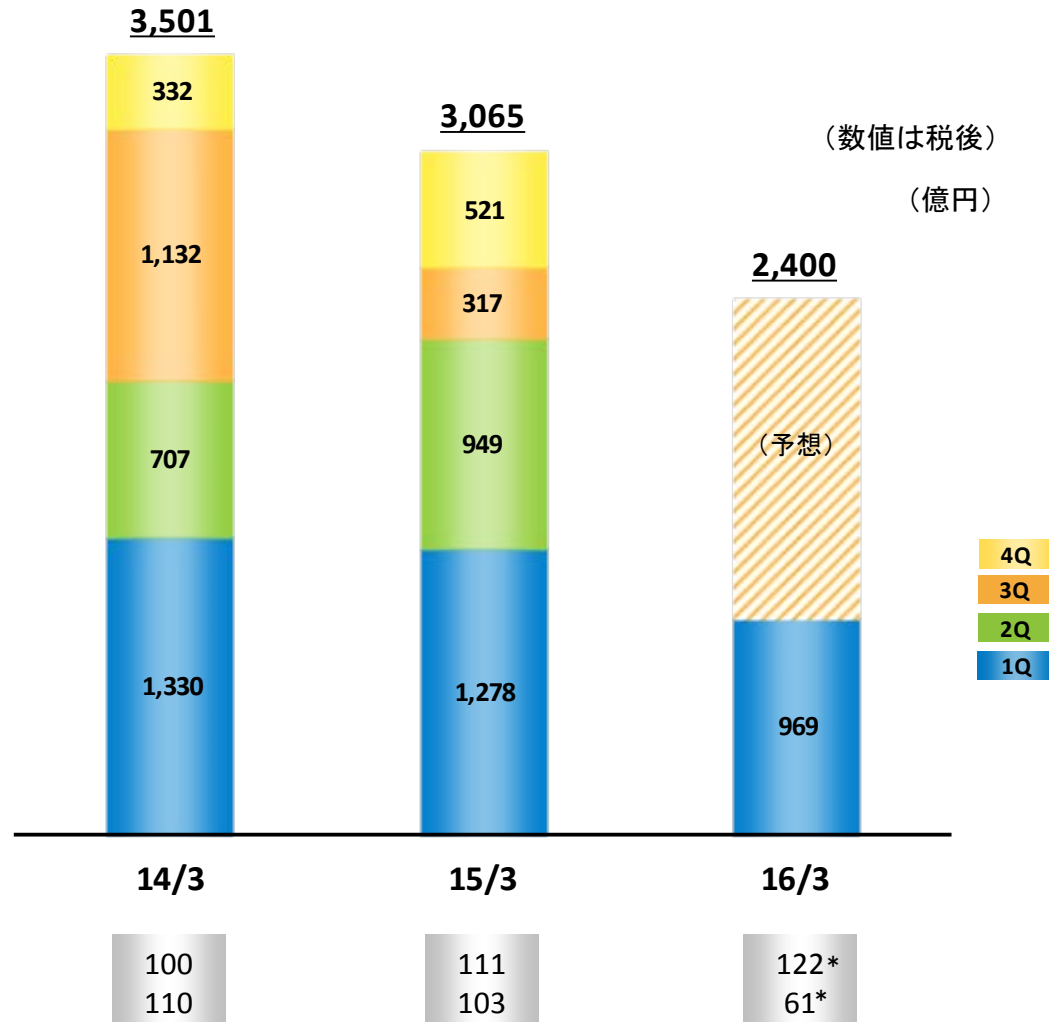
事業分野別(全世界ベース)
EBITDA(参考値)

(億円)



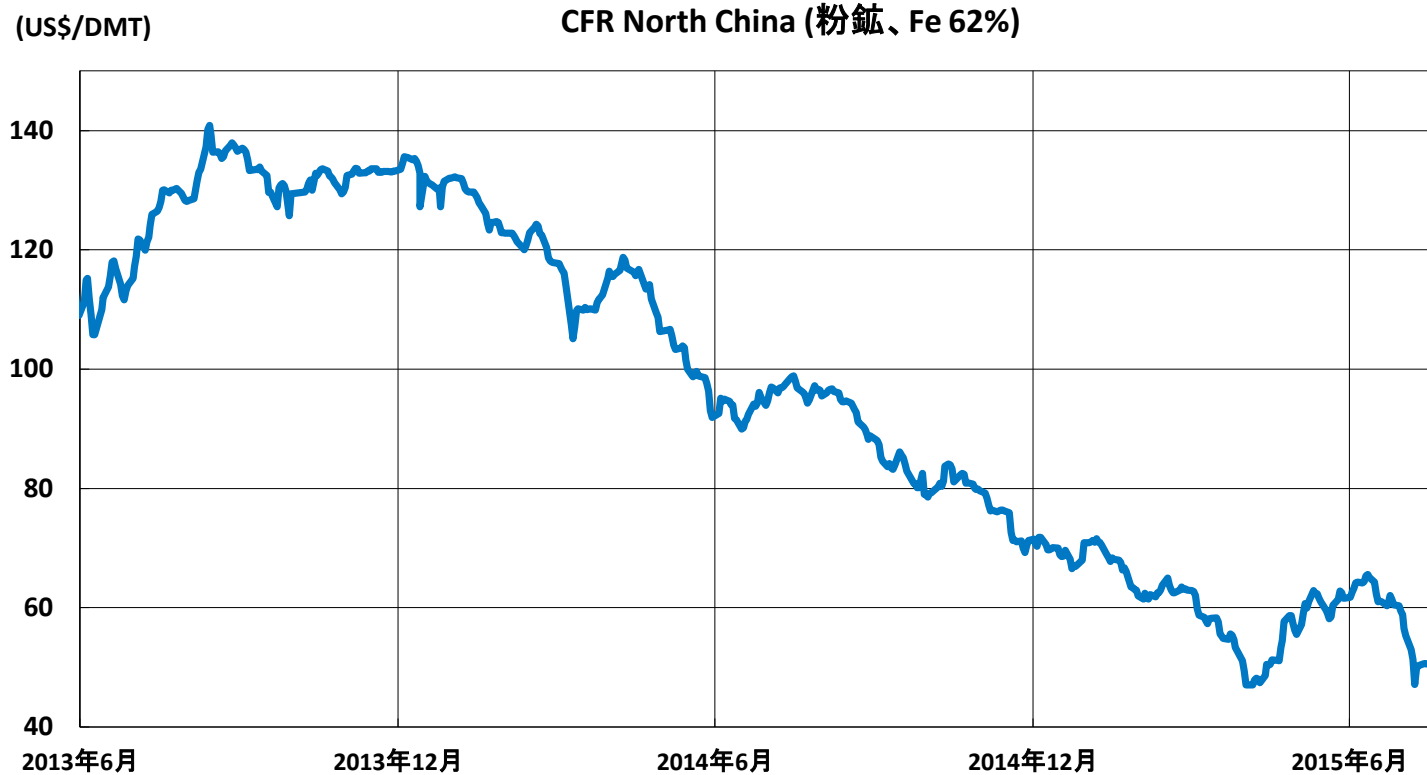
* () 内は、鉄鋼製品の数値

四半期利益の推移



*第1四半期3ヶ月平均値

中国向け鉄鉱石スポット価格推移 (参考値*)



* 業界紙複数社によるスポット指標平均

当社持分権益出荷量実績

	15/3期 1Q	15/3期 2Q	15/3期 3Q	15/3期 4Q	15/3期 累計	16/3期 1Q	16/3期 累計
鉄鉱石 (百万トン)	13.2	13.8	13.9	13.9	54.8	13.4	13.4
MIOD	7.9	8.0	8.1	7.4	31.4	7.5	7.5
MII	1.9	1.9	1.9	2.0	7.7	2.2	2.2
Vale*	3.4	3.8	3.9	4.5	15.6	3.7	3.7
石炭 (百万トン)**	2.9	3.2	3.4	3.0	12.6***	3.2	3.2
MCH	2.3	2.5	2.3	2.3	9.4	2.7	2.7
BMC*	0.4	0.4	0.5	0.4	1.7	0.4	0.4
原料炭	2.1	2.0	2.0	1.9	8.0	2.1	2.1
一般炭	0.6	0.9	1.0	0.8	3.1	1.0	1.0
銅 (千トン)*/**	29.1	25.7	26.2	27.0	108.1	25.4	25.4

* Vale、BMC及び銅は1Q:1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績

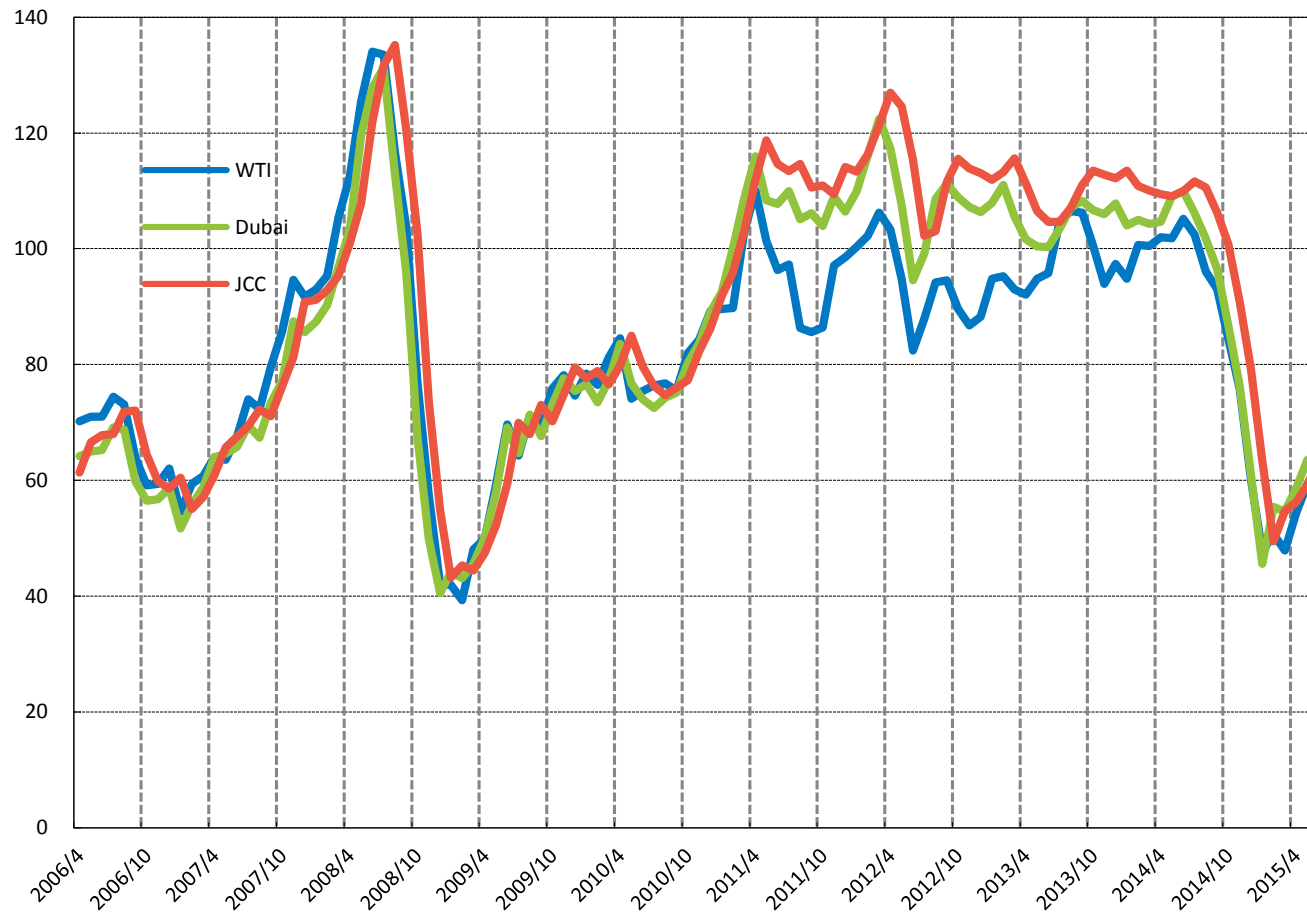
** Vale出荷分の5%を含む。

*** 2015年8月修正(12.3→12.6)

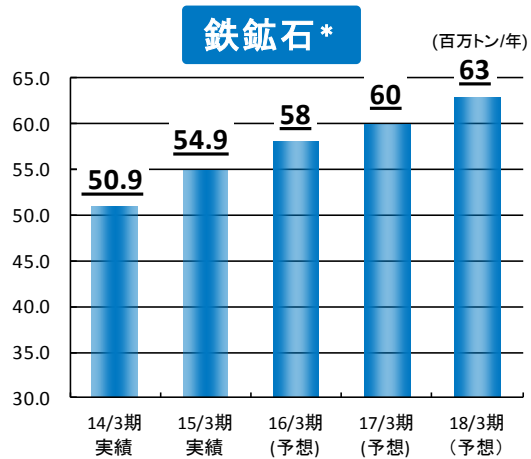
※四捨五入により合計が合わない箇所があります。

原油価格推移

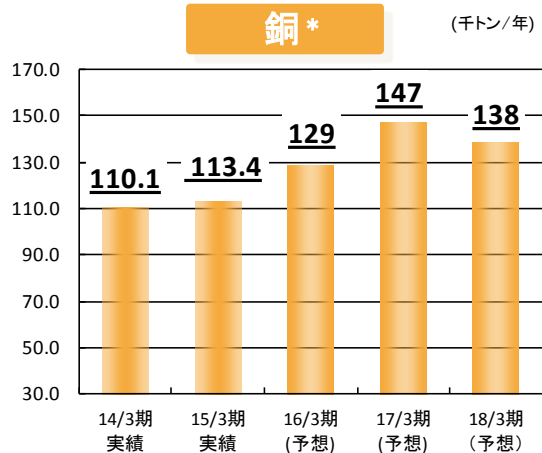
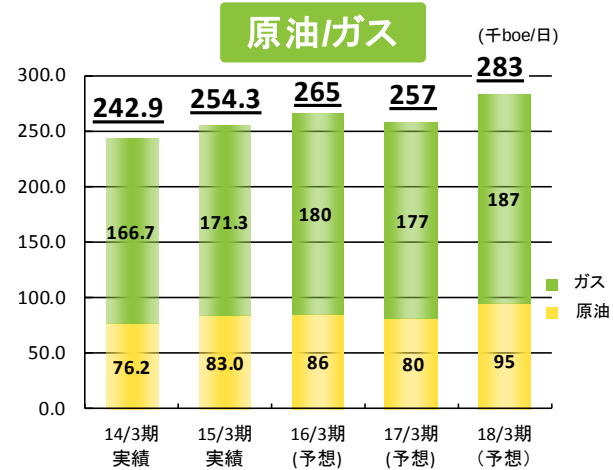
US\$/バレル



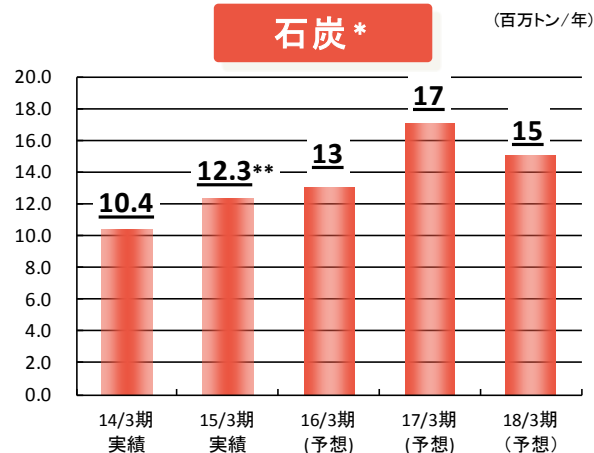
当社持分権益生産量 (2015年5月公表)



* ヴァーレ社生産分の5%を含む



* ヴァーレ社生産分の5%を含む

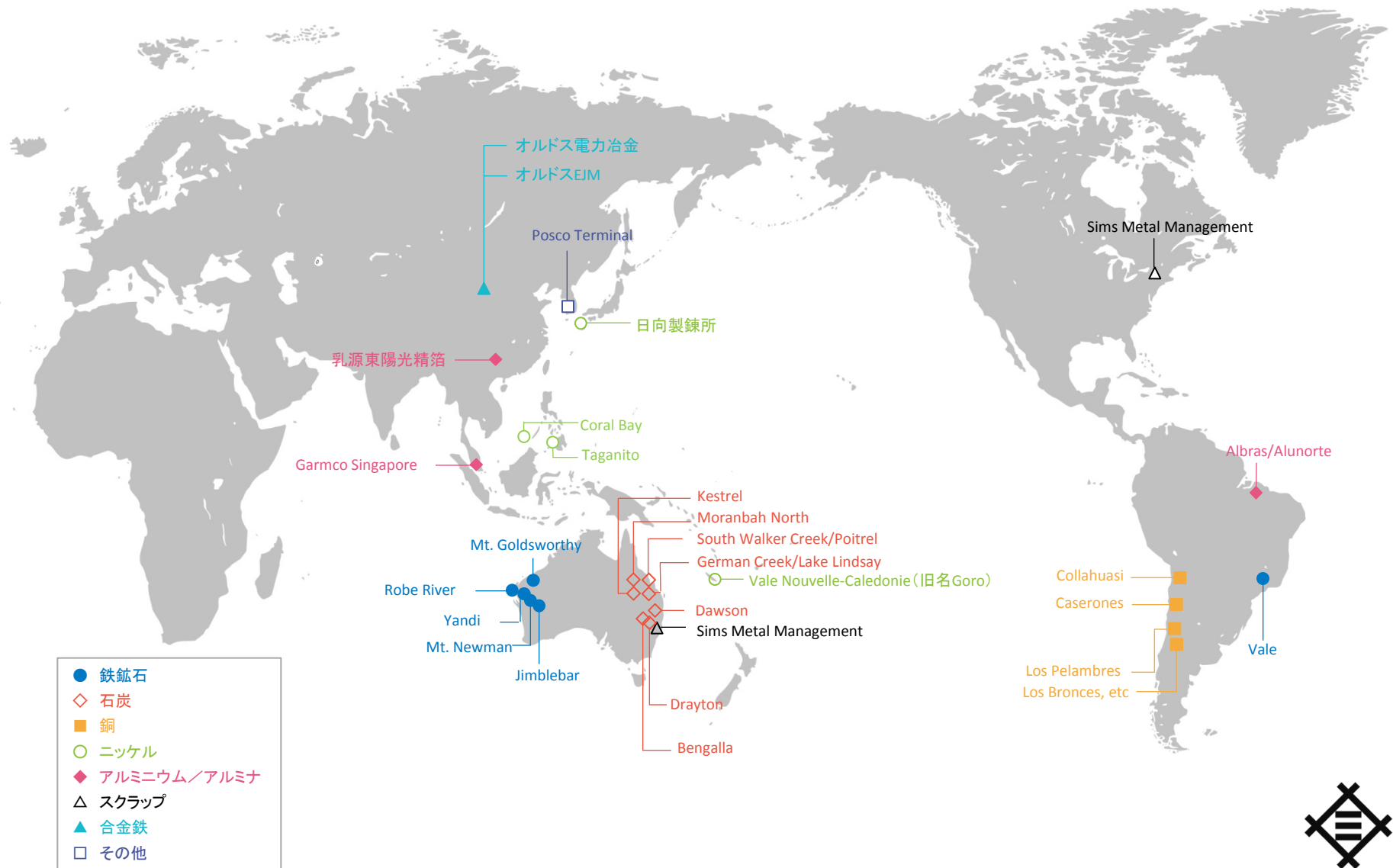


* 2015年3月期からヴァーレ社生産分の5%を含む

** 2015年8月修正 (12.9→12.3)

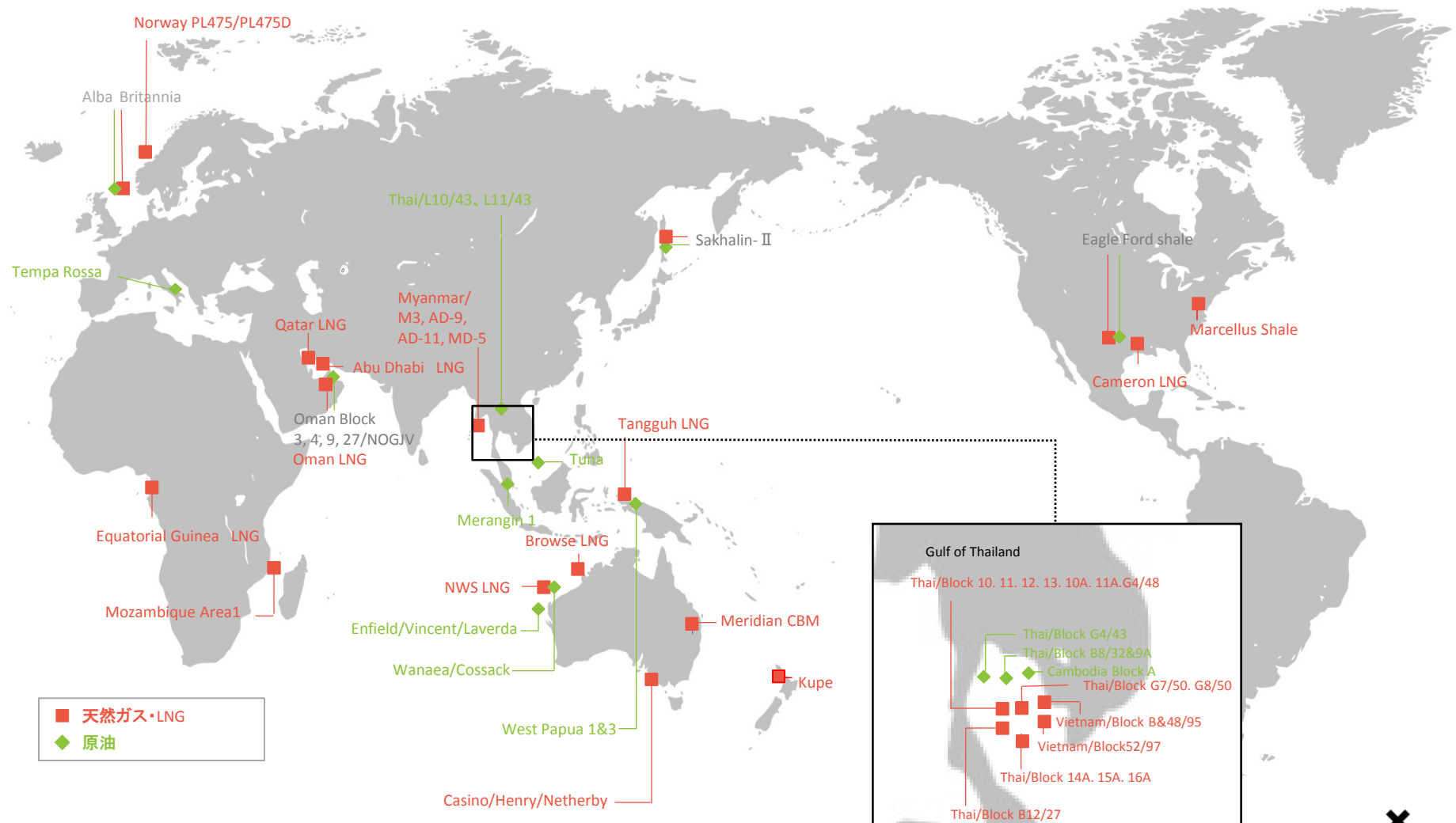
金属資源の主なプロジェクト

2015年6月末現在



エネルギーの主な上・中流権益

2015年6月末現在



原油・ガスの主な上・中流権益

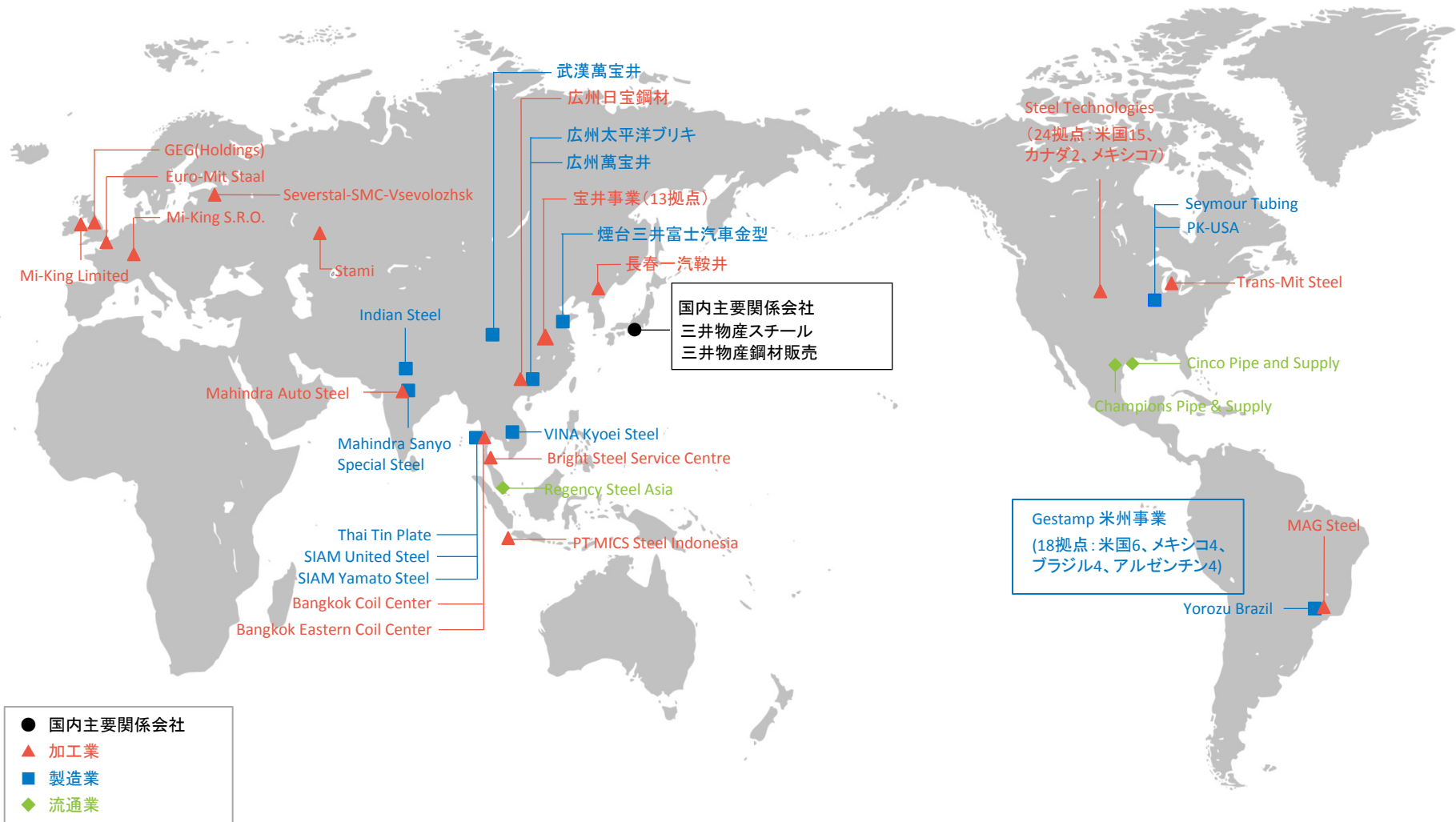
2015年6月末現在



*1 既発見未開発鉱区 *2 一部生産段階移行済

鉄鋼製品の主な事業投資

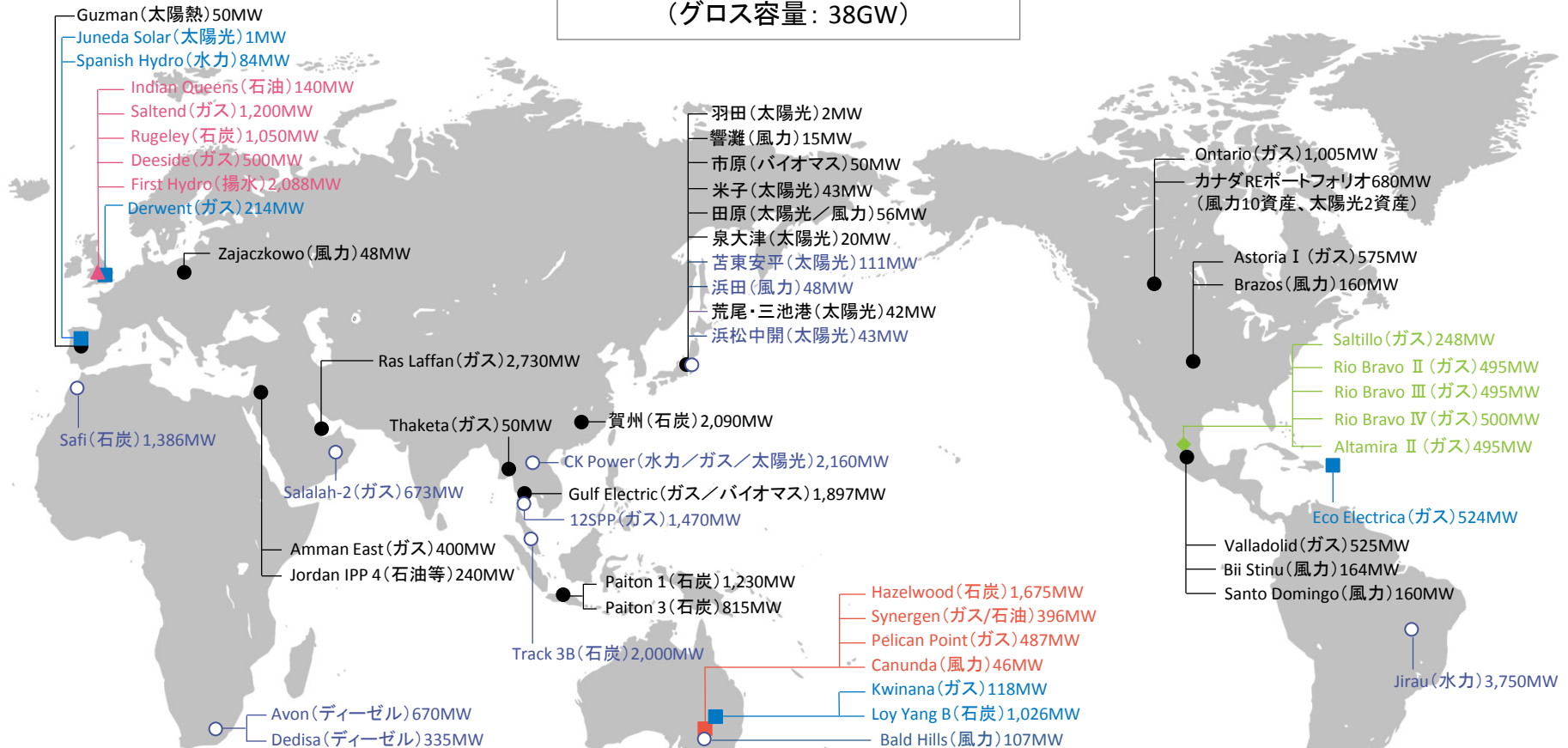
2015年6月末現在



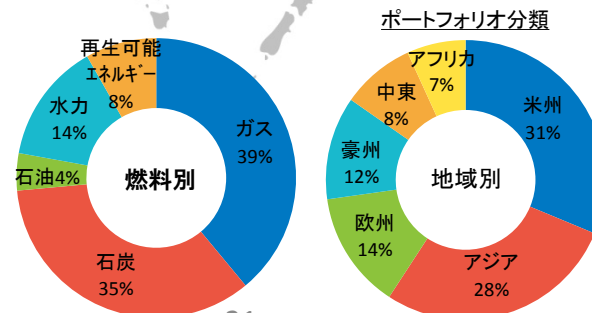
発電事業ポートフォリオ

2015年6月末現在

当社持分発電容量(ネット): 9.8GW
(グロス容量: 38GW)

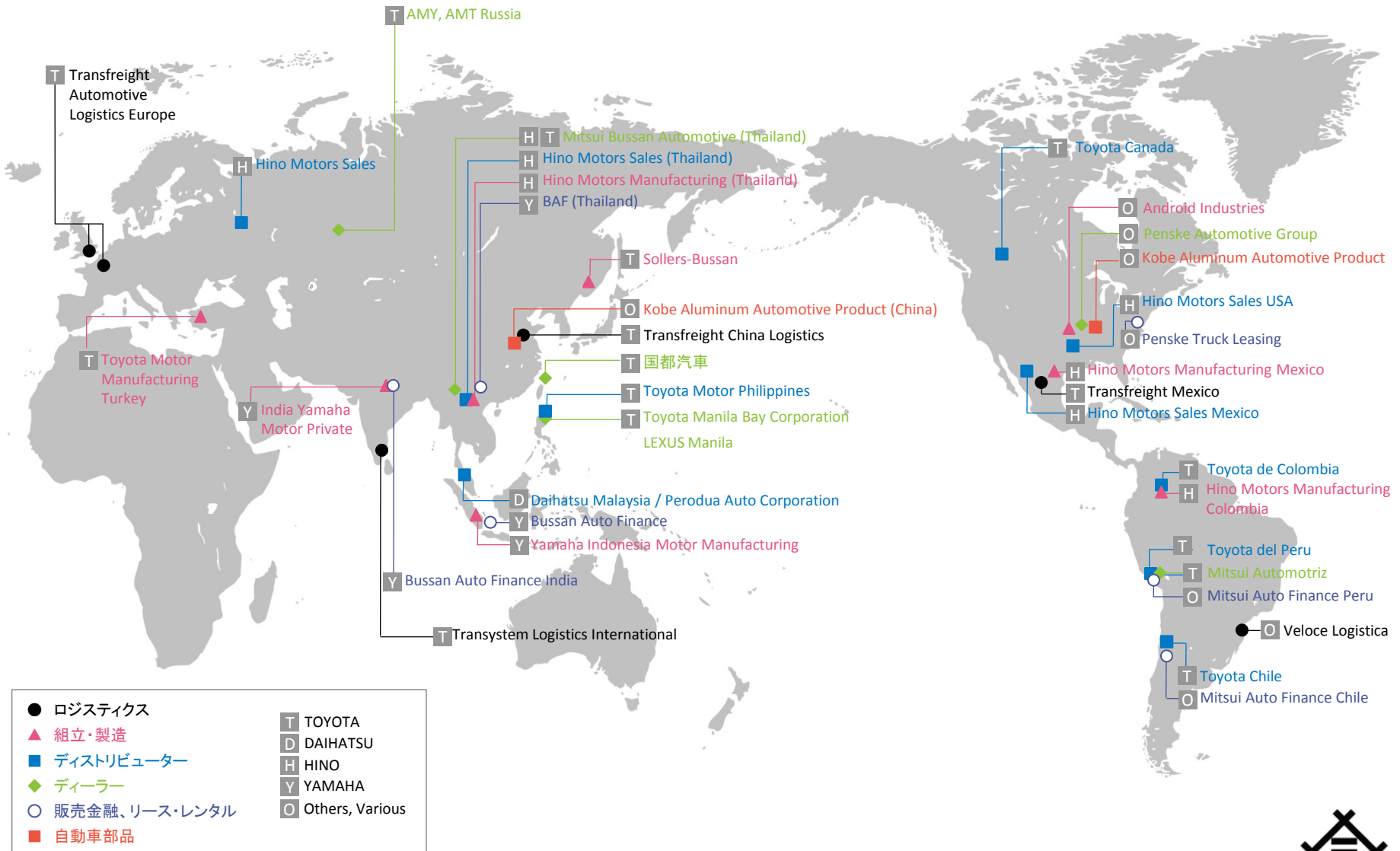


- ▲ IPM (UK) Power社保有資産
- IPM Eagle社保有資産
- ◆ MT Falcon保有資産
- IPAH保有資産
- その他
- 建設中発電所



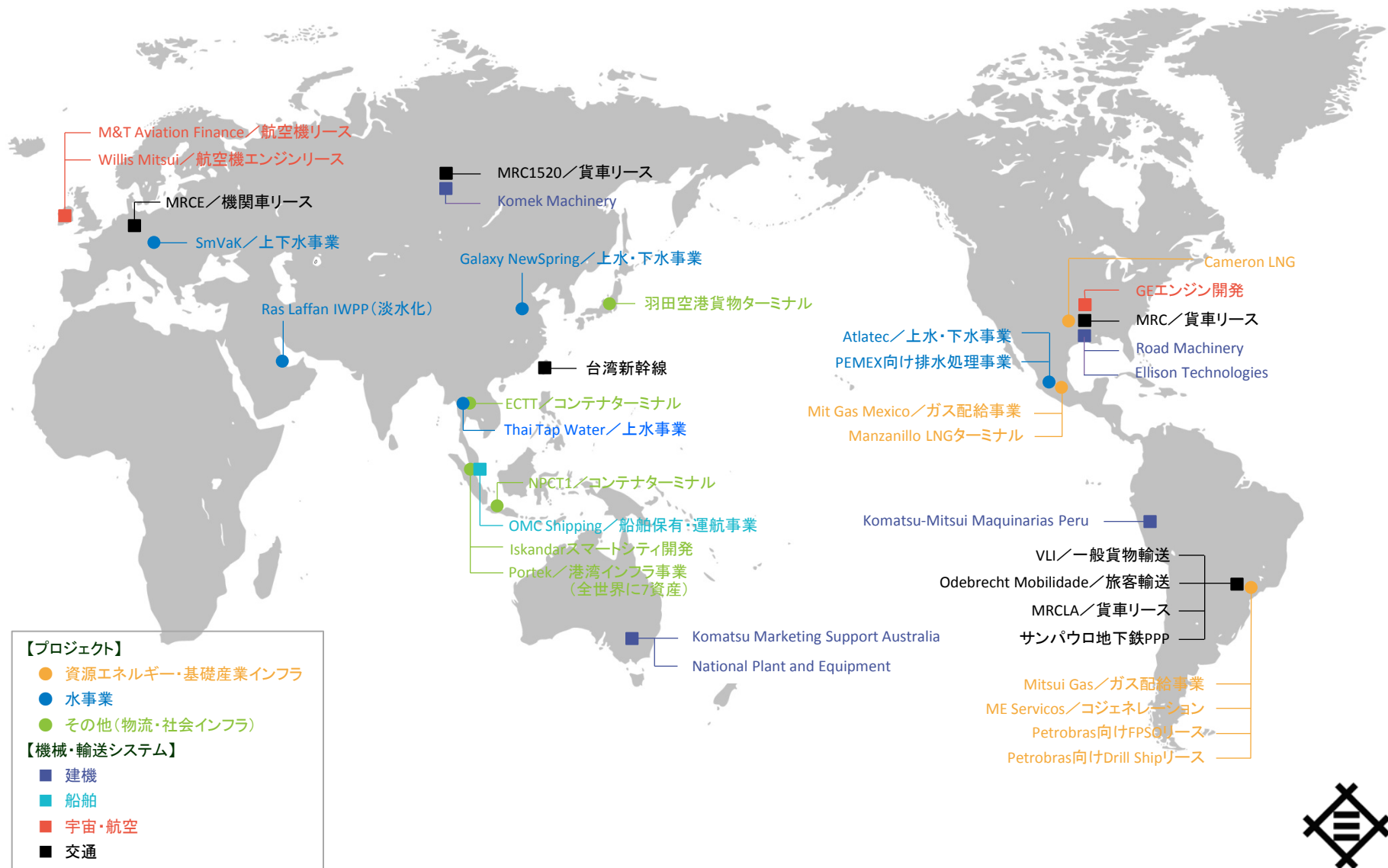
自動車事業ポートフォリオ

2015年6月末現在



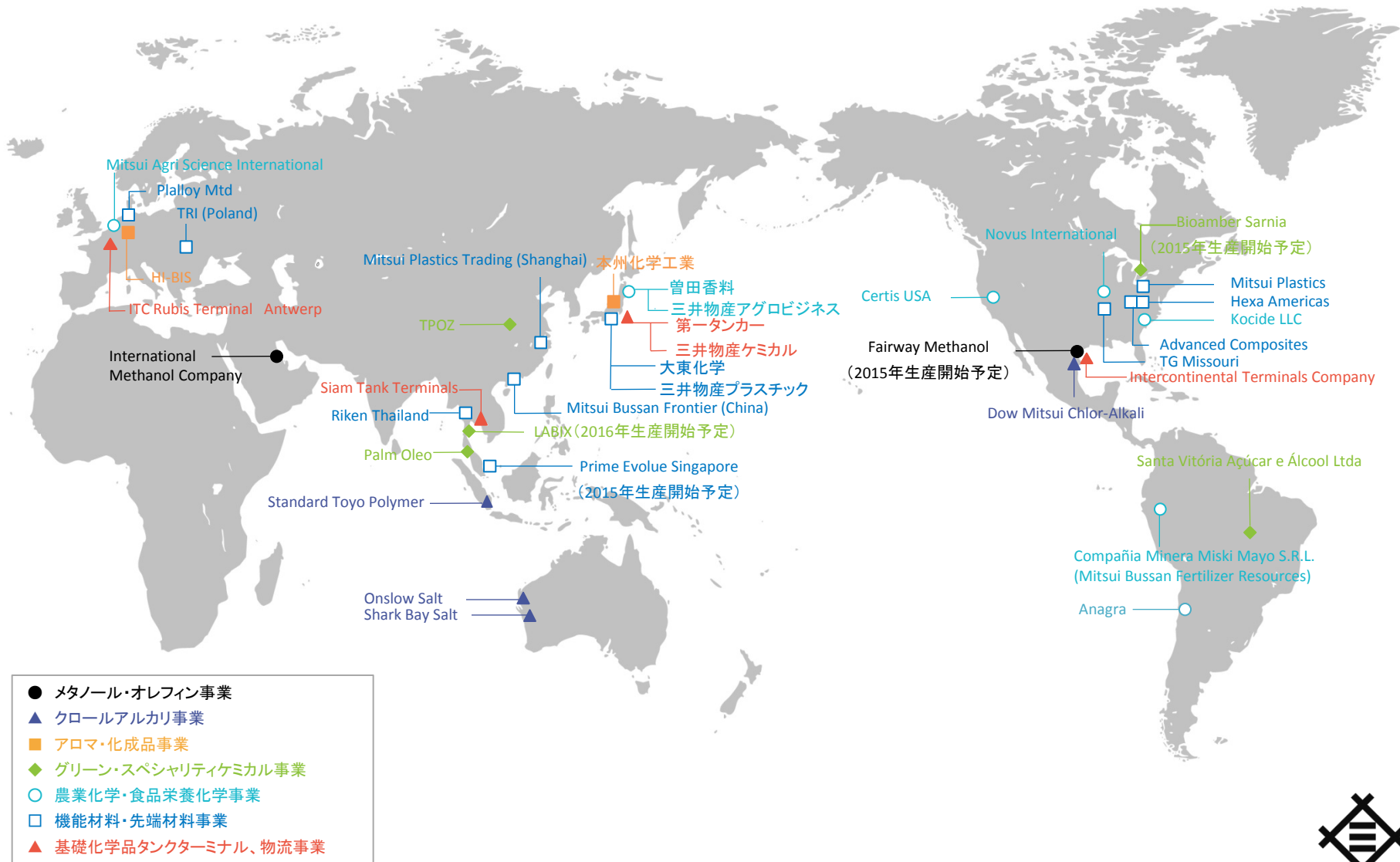
その他の主な機械・インフラ事業

2015年6月末現在



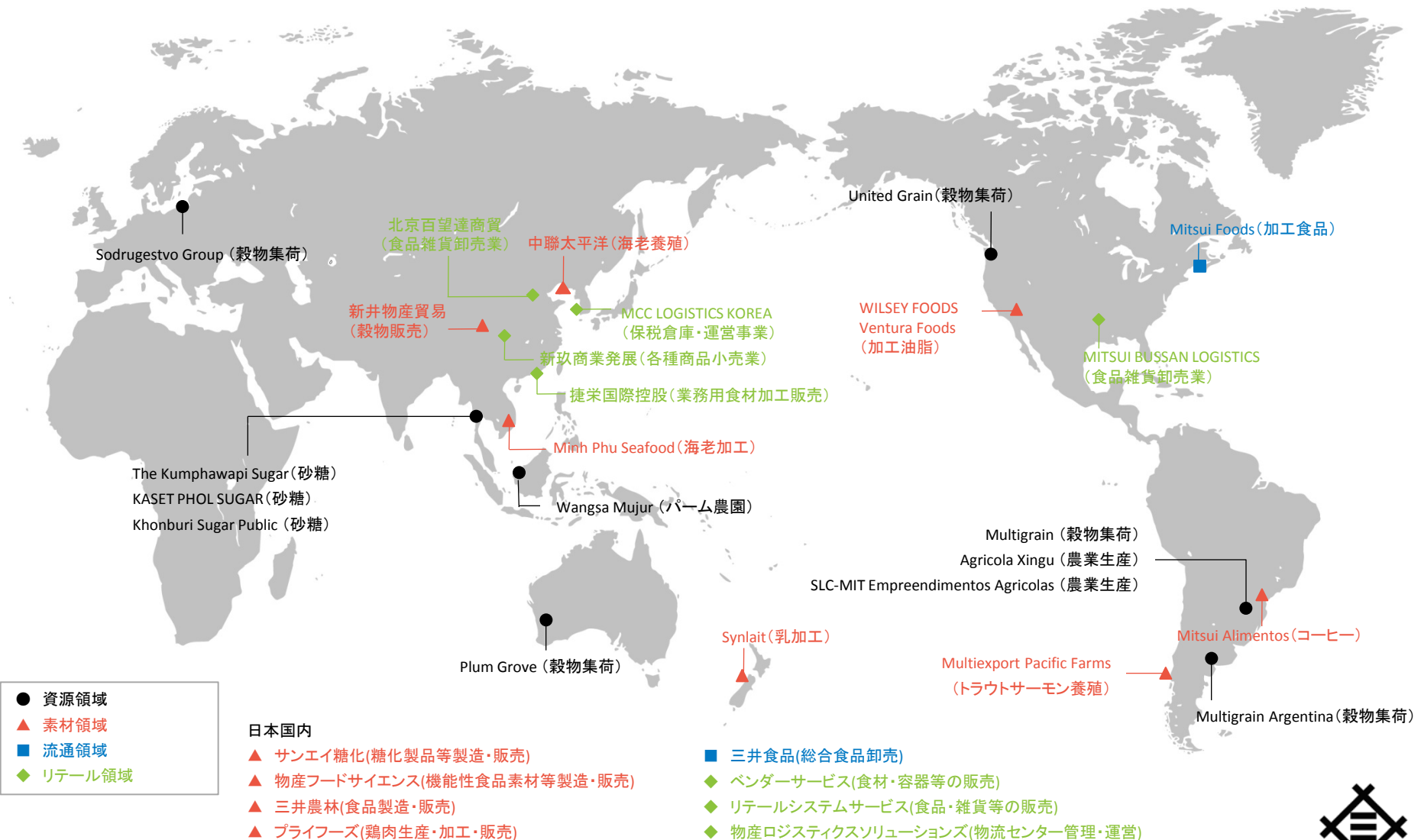
化学品の主な事業投資

2015年6月末現在



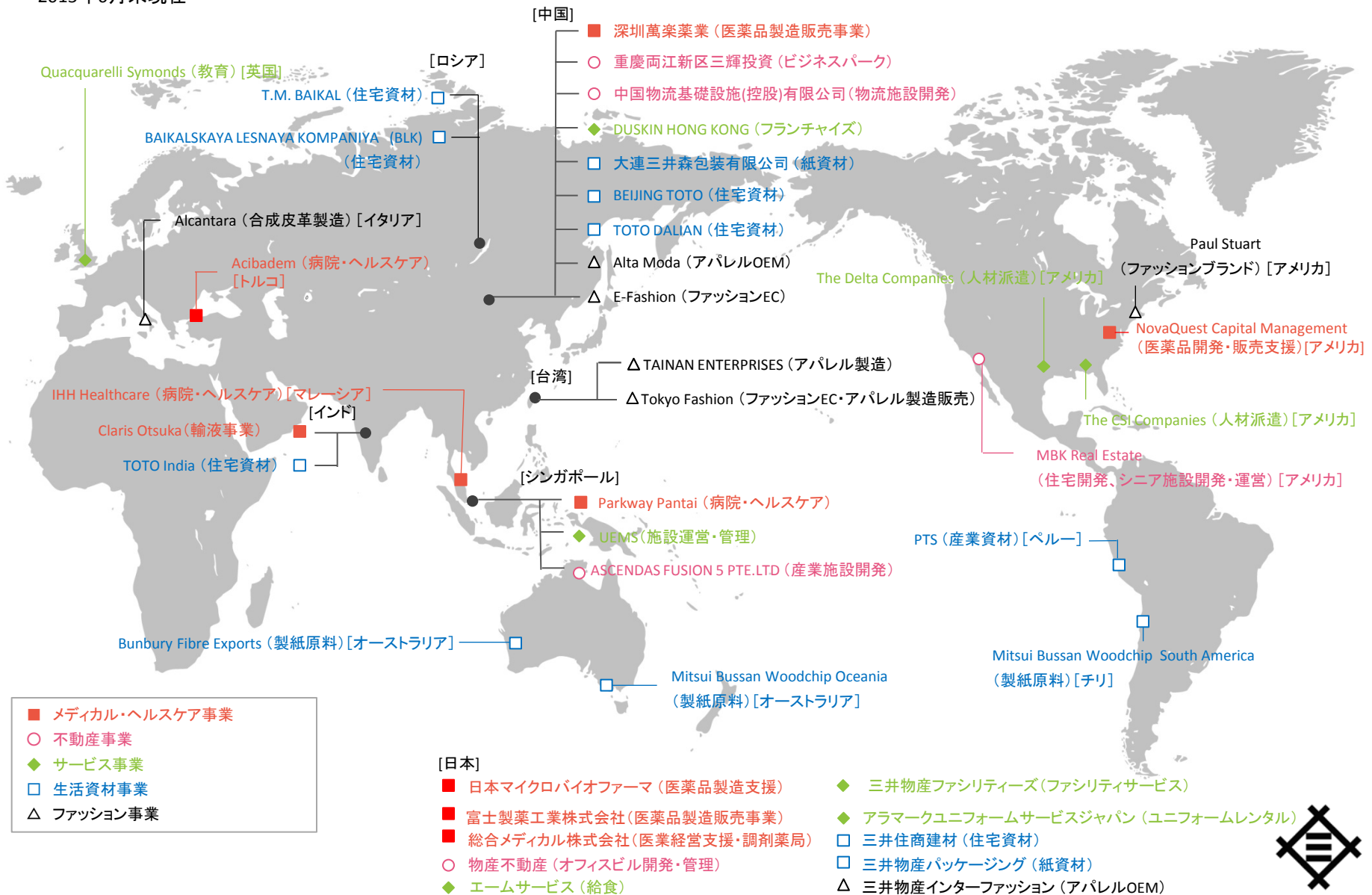
食糧・食品事業の主な事業投資

2015年6月末現在



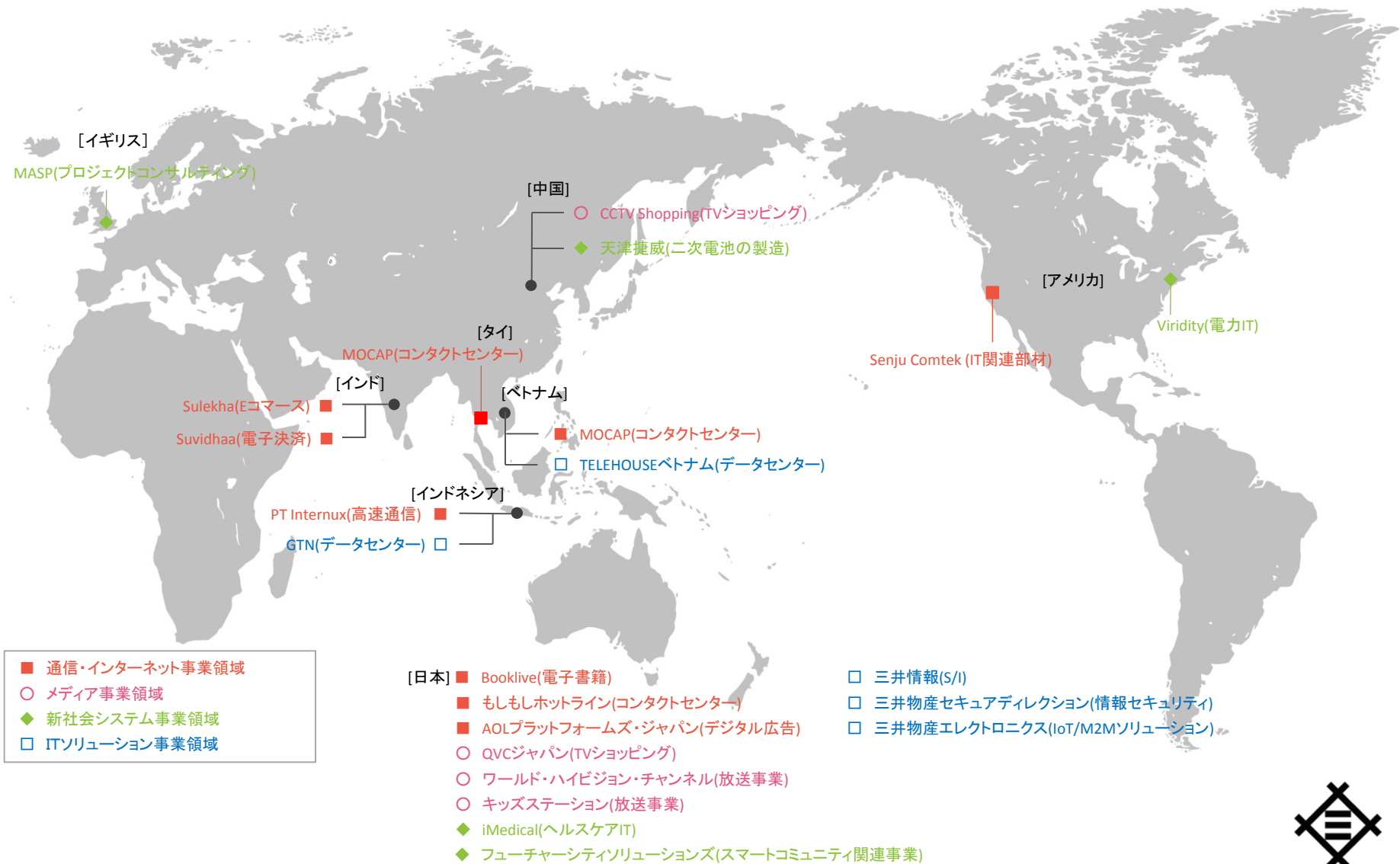
コンシューマーサービスの主な事業投資

2015年6月末現在



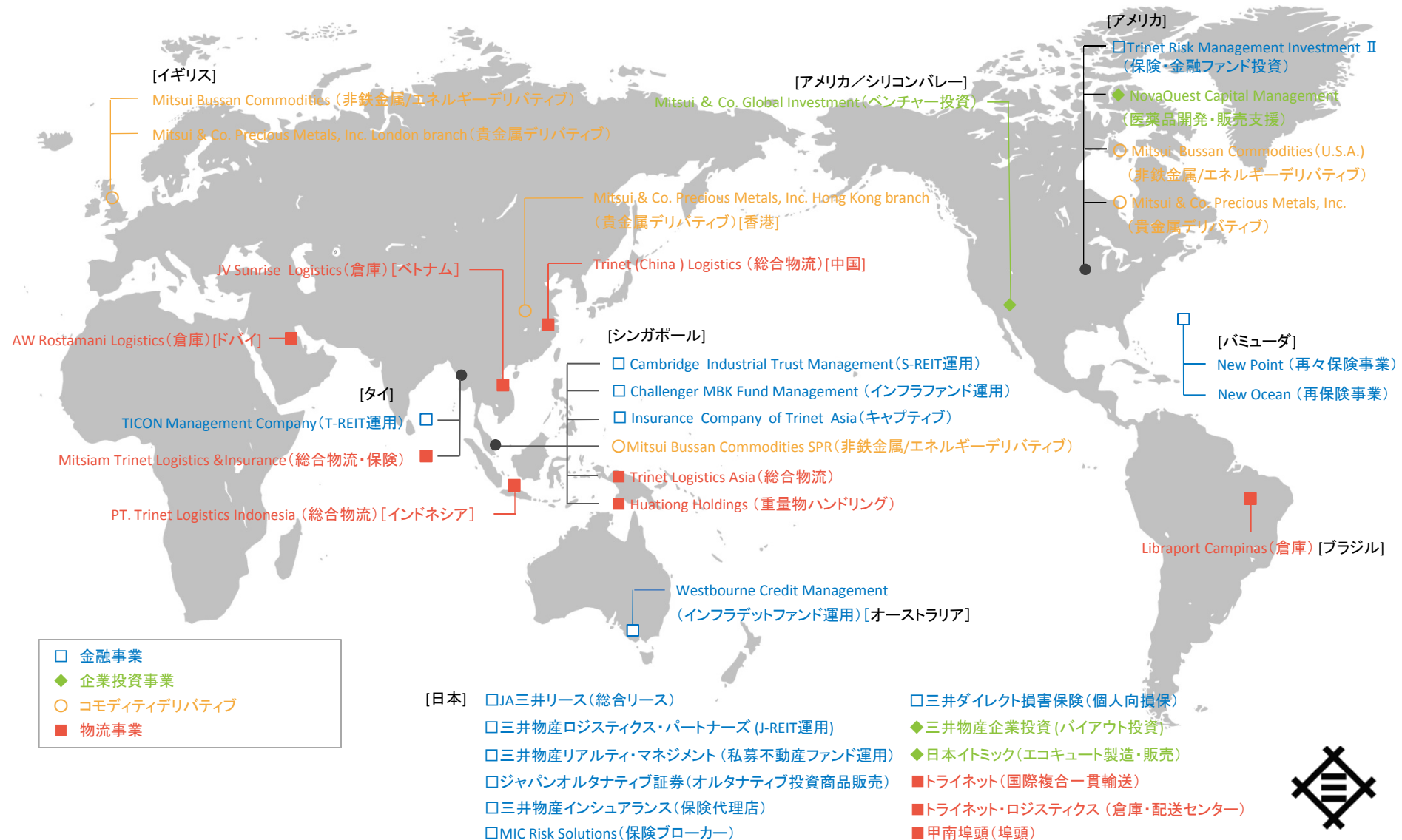
ICT事業の主な事業投資

2015年6月末現在



コーポレートディベロップメントの主な事業投資

2015年6月末現在



360° business innovation.



MITSUI & CO.